

Title	現代人の癒しと信仰（総合研究所 News：聖学院大学総合研究所カウンセリング研究センター主催シンポジウム）
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.19-4：21-24
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=2342
Rights	

聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

総合研究所 News

聖学院大学総合研究所カウンセリング 研究センター主催シンポジウム 現代人の癒しと信仰

私たちは日々癒しを求めている。医療による癒し。カウンセリングによる癒し。その他もろもろの癒し。これらの癒しは信仰とどう関わるのか。そもそも信仰による癒しとはどのようなものなのか。

日時 2009年10月23日(金)14:00～16:30

場所 新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室A

【プログラム】

主催者 あいさつ 阿久戸光晴（聖学院大学学長）

シンポジウム

シンポジスト

①青年期

菊地 順（聖学院大学人文学部教授、チャプレン）

②中年期、老年期

堀 肇（鶴瀬恵みキリスト教会牧師、臨床パストラルスーパーヴァイザー）

③精神科医から見た青年期、中年期、老年期における発達課題と問題点

平山正実（聖学院大学大学院教授）

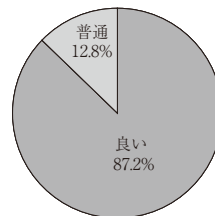
質疑応答・討論

司会 村上純子（聖学院大学非常勤講師・臨床心理士）

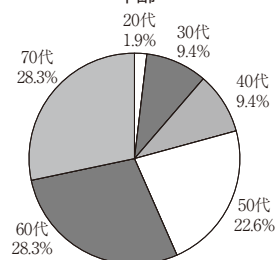
【結果の概要】

- ・参加者は96名だった。内アンケート解答者は53名。
- ・シンポジウムについて、「良い」という意見が87%と高い評価だった。
- ・自由意見では、「もっとじっくり聞いてみたい」「時間が短かった」「有意義なシンポジウムだった」など。

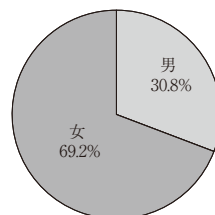
シンポジウムについて



年齢



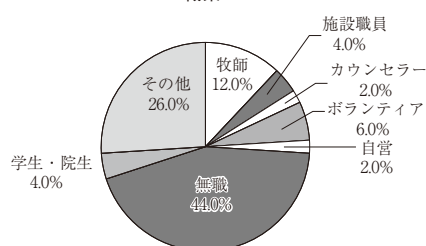
性別



*参加者の年齢は、「70代」「60代」「50代」で約8割を占めた。

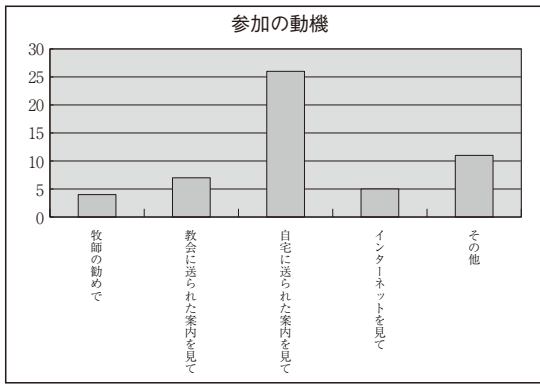
男女別には、「女性」70%、「男性」30%であった。

職業



*職業別では、「無職」が44%と最も多く、次に「牧師」12%となった。

「その他」の内容として、「主婦」「牧師夫人」など。



*参加の動機として、「自宅に送られた案内を見て」が最も多く、次に「教会に送られた案内を見て」だった。「その他」として、「友人の勧め」「職場の同僚の誘い」「教会で案内されて」「知人の誘い」など。



質疑応答と討論 左より菊地順教授、堀肇牧師、平山正実教授

自由意見

- ・その人のかたわらにいて、ふんばる事—平山先生のお言葉ですが—ふんばれなくなるほど、自分も弱いし、とても太刀打ち出来ないケースや、時に自分も枯渇するという場合もあります。癒しを必要とする人もそばに立つ人も同じく癒しを必要とすると感じます。毎日毎日癒しとなぐさめをいただき、日々更新していくことかなと思わされます。一日の苦労は一日で足れり、夜休むときには、日中いかなることがあってもホッとして休める癒しの一つのみことばがあります。ありがとうございました。
- ・このようなシンポジウムを開いていただき、感

謝します。

癒しを必要としている方々が、周りにおり、これからのクリスチャンの大切な力になると思います。

- ・大変濃い内容をありがとうございました。特にプロテスタント病と名づけられたことについて、私自身が生きてきた過去15年の教会生活とあわせて今お聞きできたことが、恵みでした。信者の中にこそ固い考えの人が多く感じるこの頃です。知らずに陥るパリサイ人的存在…恐いです。もっと広くとらえる心が信者に与えられるように祈る者でもあります。今、自分の弱さのため（清められることが前面に出ることがよくないと、自分の判断で）ジブシークリスチャン的にひっそり礼拝を守る生活です。一ヶ所におられる、えらいクリスチャンとなかなか話を共有することが出来ず、残念です。今回のような内容がもっと広く行き渡ることがあるようにと願います。主がわたしをここに導いて下さったことに感謝します。
- ・シンポジウムありがとうございました。タイムリーで、今日の教会には大変に重要な課題ですので、感謝です。また、このような牧会的テーマをお願いいたします。各世代別に深めていただくと感謝です。
- ・菊地先生、罪の理解、キリスト教的人格の形成、とても興味深い事柄なので、時間をかけてじっくりと聞きたいと思いました。



会場はほぼ満席となった

堀先生、統合という牧師先生らしいお話。

平山先生、いつも時間が短くて残念です。

- ・精神科医のお立場からのご意見がとても勉強になりました。信仰を持つことで心に負担を持つことがあると思います。どのように、そのバランスを持てばよいのか。次回はそのところを深く知りたいので、またの機会を楽しみにしております。
- ・三人の先生の立場からの講義をうけ、気づきが与えられて感謝です。キリスト者のうつや他の病気の場合の癒しは平山先生の話で本当に教えられました。なぐさめるといふこと、なぐさめられるといふことが癒しと信仰を両立させることであると思いました。
- ・先生方お一人お一人のお話をもっとじっくり聞きたかった（短すぎる）。
菊地先生の大学教授、チャプレンの立場から、堀先生の牧師の立場から、平山先生は精神科医の立場からとても勉強になり、心の糧になりました。教会の中に心の病で苦しんでいる兄弟がたくさんいます。隣に寄り添い、祈ってさし上げたらと思われました。参加して良かったです。感謝します。
- ・お一人30分というのは時間が少ないと思います。人数を二人とかにして、もっとゆっくり時間を気にせずお話してもらった方が良いと思います。菊地先生のお話はレジュメのプリントを読み上げることが主でしたが、もう少し脱線してもいいようなお話も聞きたいと思いました。ですので堀先生の方が話しにひきこまれました。
- ・今日の質問を聞いていて、「いやし」を与える立場の人より、「いやし」を受けたい人の方が多いように今日の参加者について思いました。現在、「カウンセリング」を学んでいる私は、今日は平山先生のおっしゃる「かたわらに寄り添う」という思いをもって今後もつとめていきたいと思ひます。
- ・平山先生のようなお話を、牧師にお話していただいて、心の病いをもっておられる方の理解をしていただきたいと思います。
- ・もう一つのプロテスタント病にとっても興味をもちました。ハイムの主張は本当に納得です。菊

地先生の豊富な知識を尊敬します。

- ・菊地先生の「プロテスタント病」のお話をもっと深くお聞きしたかった。その機会をぜひ作っていただきたいと思ひます。プロテスタント教会への登校拒否者より。
- ・本日の感想として、癒しとはプロテスタントより、カトリック信仰のほうが優れていると感じた。次回の講演は「カトリックとプロテスタントの違い」を選択してほしい。
- ・老年期を迎え、身体的おとろえ、痛みの増すこの時を何故に信仰をもって喜んで日々を送るかが私の祈りです。霊と肉の狭間で絶えず上を見上げて日々を過ごしたく願っております。
- ・ボランティアに役立ちそうです。「あなたは神に愛されている」と伝えつづけたいと思ひます。堀先生のメッセージ、特にすばらしかった。
- ・教会生活に役立てたい。



熱心に講演を聴く参加者たち

- ・こういう講座を開いて下さり、感謝いたします。三人の先生方の貴重なお話、魂のごちそうをいただきました。ありがとうございます。
- ・多面的視点から注視する魂の問題を見るチャンスとして有益であった。
- ・今後また学びのチャンスを望んでおります。よろしくお祈りします。
- ・お一人お一人の持ち時間が少なく、もったいないといふか、もっとじっくり聞きたいと思ひました。一つのテーマが多角的に伺えて面白かったです。
- ・一人一人の先生方の話は、大変重要な話しですが、時間が短くて内容が理解出来にくかったの

で、一人のテーマで一回毎に話をしてほしい。

- ・時間が少なくてもったいないと思います。立派な講師の先生方にそれぞれの持ち味をもっと生かしたお話をもっとゆっくりお聞きしたかったです。
- ・おひとりお一人の先生方のお話をじっくりお聞きしたいと思いました。時間が短く残念でした。大変勉強になりました。
- ・発表時間が短いため、全員時間を守らなかった。
- ・せっかくのシンポジウム、より深く学ぶことが出来るために、レジュメの内容を充実したものでお願いしたい。今回の菊地先生のレジュメのレベルまでお願いしたいです。
- ・質疑応答の時間があればよかった。質問票の提出よりも質問者の生の声で質問できるようにしてほしい。読み上げられるとかえって質問の内容がわかりませんでした。
- ・私には少し話しの内容がむずかしかった。三人話されましたが、講師に一時間ぐらいとってもらったら良かった。特に堀先生に時間をさいてほしかった。
- ・菊地先生、難しかったので、帰って読み返します。
- ・癒し方法、実例を聞きたかった。
- ・エイジング（老化）に対する考え方、対応といったお話を聞きたい。
- ・とても有意義なシンポジウムであったと思います。多くの気づきがあった。
- ・大変良い学びをさせていただいてありがとうございます。
- ・大変良いお話を伺うことが出来ました。ありがとうございました。